

ニューズレター雪氷北信越

No. 5 平成元年2月10日
日本雪氷学会北信越支部発行

目次

1. 50周年記念写真展報告 / 2. 習会報告 / 3. 事務局より / 4. 講習会案内

写真展

日本雪氷学会創立50周年記念事業「雪と氷の写真展」の報告

本年1月6日より29日にかけて、長岡、黒部、富山の各市において、上記写真展が開催されました。各会場における来訪者数は、長岡（446名）、黒部（230名）、富山（817名）で盛会のうちに幕を閉じました。ご協力いただきました関係各位に深く感謝いたします。なお、同写真コンクールにおきましては、北信越支部より、飯田会員、和泉会員、遠藤会員、封馬会員が入選されました。詳しくは、「雪氷北信越2号」をご覧ください。

学習会

第3回富山地区学習会の報告

1月21日黒部市内の黒部市吉田科学館において、第3回富山地区学習会が開催された。講師の同科学館飯田 肇氏から「立山内蔵の助の雪渓調査」について、多くのスライドと資料を用いて詳しく説明されました。とくに、内蔵の助の雪渓は、国内における大変興味深く貴重な雪氷のフィールドの一つであり、その下部水体は約900～1700年前頃という気の遠くなるような年代に形成されたものであるという可能性が高いこと、深さが約20mにも達する縦穴に潜っていくとはっきりした層構造が何層にも見られ、まるで氷河の断面を見ているかのような神秘的な世界が展開することなど、調査の苦心談も交えて興味深く話をされた。富山・石川地区から会員、非会員併せて30名の参加者があり、とくに、主婦達も含めた熱心な地元の人達の姿も目だった大変有意義で盛大な学習会であった。
(高瀬理事 記)

事務局より

1. 富山地区および新潟地区見学会を、それぞれ4月下旬（黒部-立山）、5月上旬（薬師岳、弥彦山レーダー）を予定しております。詳しくは、4月のニューズレターにて紹介いたします。

担当 富山地区：飯田幹事、黒部市吉田科学館0765-57-0610

新潟地区：小池幹事、長岡技術科学大学0258-46-6000内線6124

2. 本年1月末に発行予定の「雪氷北信越2号」は、事務局の都合により編集作業が遅れており、大変ご迷惑をおかけしております。2月下旬には発行すべ努力しております。申し訳ございませんがもうしばらくお待ち下さい。

昭和63年度 講習会追加募集のご案内

ニューズレターN0.4 で御案内いたしました講習会の定員に十分なゆとりがありますので、以下の要領で追加募集をいたします。

積雪の断面観測と雪の含水率の測定

定員：20名（先着順）

日時：1989年2月25日（土） 13：30～16：30

場所：新潟県立長岡工業高校 物理教室

（長岡市幸町2-7-70、長岡市役所隣り）

講師：本学会の会員で雪の観測の専門家4人で構成

実習項目：積雪の層構造と雪質の観察、雪温、密度、積雪相当水量の測定、
雪の含水率の測定

申し込み、問い合わせ：電話にて2月16日（水）までに下記にご連絡下さい。

申し込み先：☎940長岡市幸町2-7-70、長岡工業高校 田村盛彰
TEL 0258(35)1976

受講経費：テキスト、実験材料費等の実費として次のとおり。

会員=2000円、非会員=3000円、学生=1000円

（講習当日に持参下さい）

当日に持参するもの：筆記用具（鉛筆）、ノート、定規、電卓、長靴、防寒具

※昨年度の講習会の反省を生かし、受講者自らが実際に計測し、まとめるような講習会をめざします。

※追記 例年になく積雪が少ない状態が続いておりますが、講習実施に支障を来すような積雪状態の場合は、実施日の数日前を目途に実施の可否を決定し、受講者各位に電話にて連絡いたします。

（田村幹事 記）